



Press release

2019年7月26日

アクサ生命、宮崎県と包括連携協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:安淵 聖司)は、2019年7月26日、宮崎県と、県民の健康づくりと豊かで安心な地域社会づくりを目指し協働して取り組むことに合意し、包括連携協定を締結しました。

本協定は、宮崎県と当社が相互に連携および協力し、県民の健康的な生活の実現、県民サービスの向上、地域社会の持続的な発展に資することを目的としています。

本協定に基づいて、当社は保険事業や健康経営推進、企業として社会的責任を果たす取り組みなどを通じて培った知見と人的ネットワークを宮崎県の各種施策に役立てていただき、県民の皆さまの健やかな生活と地域の発展のために取り組んでまいります。

(連携・協力事項)

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力する。

- (1) 県民の健康づくり・健康寿命の延伸に関する事
- (2) がん対策の推進に関する事
- (3) 県内企業の健康経営の普及推進に関する事
- (4) 県内企業及び団体等における働き方改革の推進に関する事
- (5) 障害者スポーツの普及啓発に関する事
- (6) 防災・減災の普及啓発に関する事
- (7) 環境保全の推進に関する事
- (8) 認知症に関する事
- (9) その他本協定の目的を達成するために必要な事項に関する事

アクサ生命は、宮崎県内において、1969年11月に都城商工会議所の生命共済制度、1970年11月に高鍋商工会議所の特定退職金共済制度の受託を開始するなど、県内商工会議所の共済制度の推進を通じて、事業所の皆さまの福利向上を図るべく、地域に根差した活動を続けてまいりました。

昨今では、従業員の健康増進を通じた事業の活性化と持続的発展に向け、事業所における健康経営の普及推進についても県下の全商工会議所、さらには宮崎県商工会議所連合会と覚書を締結し、協働しています。

アクサ生命は、県民の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」となることを目指し、本協定の連携・協力事項に取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命は、多様なステークホルダーに寄り添い、より良いパートナーとして「健康増進」のサポートを行っています。



※ESG投資とは、環境(environment)、社会(social)、企業統治(governance)に配慮している企業を重視・選別して行う投資



アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、246 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2018 年度には、2400 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 63 ヶ国で 17 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2018 年度通期の売上は 1,029 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 62 億ユーロ、2018 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,240 億ユーロにのぼります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>
